

# かすかべ KASUKABE 議会だより

2014(平成26)年11月1日発行  
発行・埼玉県春日部市議会  
編集・広報広聴委員会  
<http://www.kasukabe-shigikai.jp/>

## 第37号



8月31日に行われた新市立病院起工式



平成26年10月1日現在  
人回 237,965  
男 118,511  
女 119,454  
世帯数 101,248

サザンカ

### 主な内容

- 主な議案の紹介…………… 2～4 ページ
- 審議結果…………… 4～5 ページ
- 一般質問…………… 6～16 ページ
- 閉会中の委員会活動…………… 16 ページ
- 政務活動費について…………… 16 ページ

# 平成25年度一般会計決算を認定

## 「小中学校の普通教室にエアコン設置を

## 求める決議」を全会一致で可決

### 平成25年度一般 会計決算を認定

平成25年度一般会計決算の  
主な内容は次のとおりです。

○主な内容

歳入決算額は681億7744万円、歳出決算額は654億519万円となり、差引残額27億7225万円は、翌年度に繰り越されました。

○歳入の主なもの

歳入の根幹である市税は276億5685万円で全体の40・6パーセントを占め、税率の引き上げによる市たばこ税、固定資産税、法人市民税の増などにより、市税全体では前年度比2億6212万円の増加となりました。

次に、国庫支出金は105億8841万円（15・5パーセント）で前年度比3億68

7万円の増加となりました。

また、地方交付税は83億9万円（12・2パーセント）で前年度比2億2683万円の減少となり、市債は80億1736万円（11・8パーセント）

で前年度比9億3981万円の減少となりました。

○歳出の主なもの

歳出に占める割合の大きいものは、民生費が251億8564万円で全体の38・5パーセントを占め、児童福祉費、障害者福祉費、生活保護費などが主なものです。

次いで、総務費が91億5696万円（14・0パーセント）、教育費が83億4887万円（12・8パーセント）、土木費が71億4102万円（10・9パーセント）、公債費が62億2504万円（9・5パーセント）となりました。

【賛成多数で認定】

### 討論

削減された福祉サービスを元に戻し、市民要請の実現を求め反対（日本共産党）

歳入について、財政調整基金は、約49億円と春日部市の史上最高額となっています。

市民の所得が減り、暮らしがますます苦しくなるもとで、必要などころに使わずに、基金を積み立てるべきではありません。

歳出について、総務費では、民間に税の電話催告業務を委託していますが、税という極めてプライバシーが重視されるべきものを外部に委託することは問題です。

民生費では、保育料は4年前に値上げされ、県平均よりも高くなっています。児童館は、市の東側に偏っており、

豊春、武里地区などへの設置が求められます。障害者福祉費では、福祉タクシー・自動車燃料券は、最低でも月1回の通院等を保証するために、削減前のタクシー券24枚、燃料券12枚に戻すべきです。高齢者福祉費では、シルバー人材センターへの補助を増やし、充実を図るべきです。生活保護費では、ケースワーカーをさらに増員し、きめ細かな対応が求められます。

農林水産業費は、決算総額の0・45パーセントと大変低くなっています。農家の経営を支援する具体的で実効性のある施策が必要です。

商工費も決算総額の0・7パーセントで、商都復活にはほど遠いものとなっています。商業振興の具体策が求められています。

消防費では、職員を増員し、消防車1台当たり5人、最低でも4人は確保すべきです。

学校教育費では、児童生徒の不登校の増加を防ぎ、一人一人と向き合えるよう、教員の多忙化の解消も含め、総合的な対策が必要です。エアコンの設置は、特別教室も完了していません。全教室への設置を進めるべきです。洋式ト

イレの増設を含めトイレの改修も必要です。

社会教育費では、小中学校のプール開放事業の利用者が増えており、プールの要望の高さが分かります。市民プールの建設に取り組みべきです。

建設費では、橋梁についても老朽化し、改修や架け替えが必要なものが20年後は61パーセントにもなり、早急な対策が必要です。市営住宅は、入所希望者85件に対して入居できたのはたった9件です。市営住宅の大幅な増設が必要

です。  
歳入歳出差引残額は27億7225万円です。この残額や基金の積み立ては、削減された福祉サービスを元に戻し、市民の暮らしを支え、市民要望実現のために使うべきです。以上を指摘し反対します。

**行政課題の解決に向け効果的かつ効率的な予算執行に努められたと評価し賛成（新政の会）**

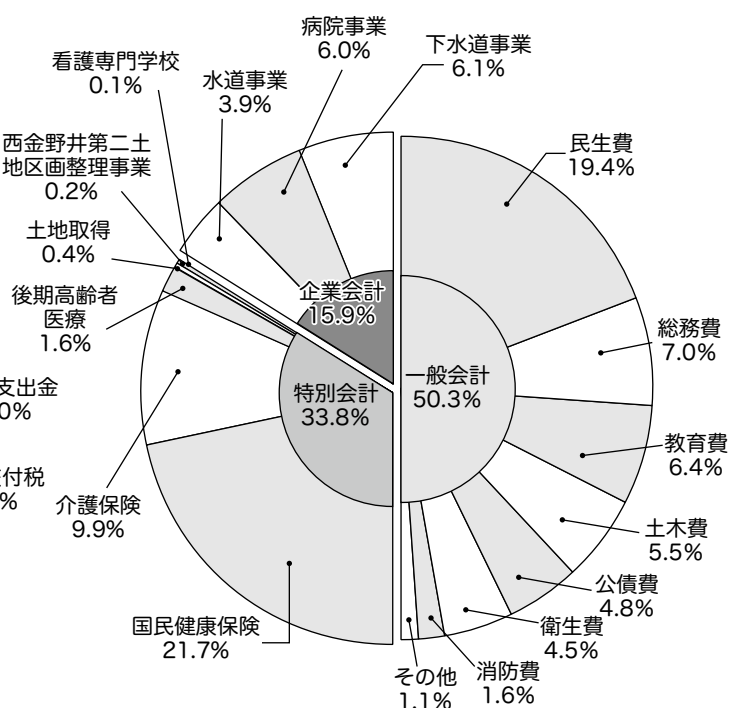
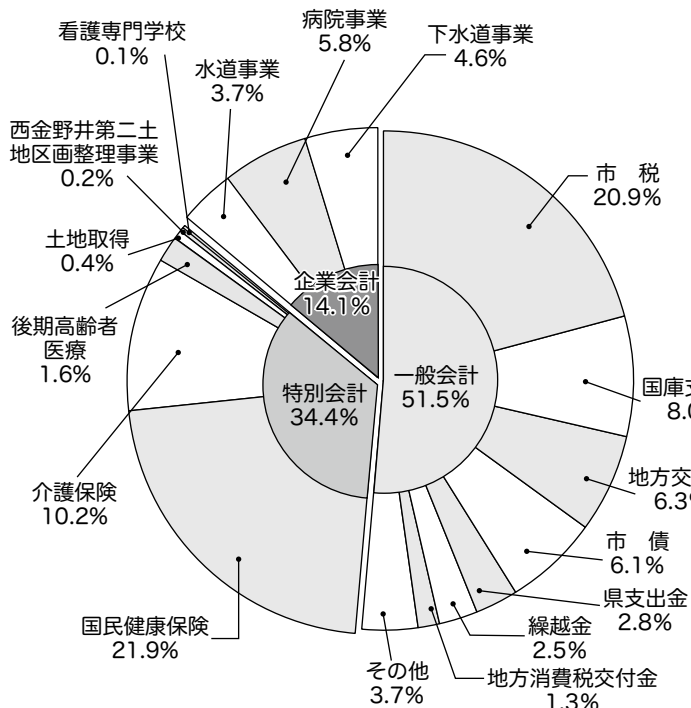
本決算は先行きが不透明な社会経済情勢の中、山積する行政課題の解決に向けて、効果的かつ効率的な予算執行に努められたものと評価しています。

まず、歳入では、根幹をな

# 平成 25 年度 会計別決算

歳入総額 1,323億 170万円

歳出総額 1,301億5,715万円



一 般 会 計			
歳 入		歳 出	
市 税	276億5,685万円	民 生 費	251億8,564万円
国庫支出金	105億8,841万円	総 務 費	91億5,696万円
地方交付税	83億 9万円	教 育 費	83億4,887万円
市 債	80億1,736万円	土 木 費	71億4,102万円
県支出金	37億 269万円	公 債 費	62億2,504万円
繰越金	32億6,617万円	衛 生 費	58億8,991万円
地方消費税交付金	17億 791万円	消 防 費	20億2,984万円
そ の 他	49億3,795万円	そ の 他	14億2,790万円
計	681億7,744万円	計	654億 519万円

特 別 会 計		
区 分	歳 入	歳 出
国民健康保険	289億7,834万円	281億8,476万円
介護保険	135億 35万円	129億 81万円
後期高齢者医療	20億7,956万円	20億3,266万円
土地取得	5億5,147万円	5億5,147万円
西金野井第二土地区画整理事業	2億2,046万円	2億1,249万円
看護専門学校	1億5,330万円	1億5,052万円
計	454億8,348万円	440億3,271万円

企 業 会 計	区 分	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
	水道事業	41億7,419万円	39億6,051万円	6億9,705万円	10億8,102万円
病院事業	71億7,722万円	71億3,282万円	5億4,218万円	6億1,352万円	
下水道事業	43億9,638万円	43億6,417万円	16億5,375万円	35億6,721万円	

※計数については、それぞれ四捨五入をしているため、合計において一致しないものがあります。

す市税において、企業業績の回復傾向による法人市民税の増額や家屋の新増築等による固定資産税の増、市たばこ税率の引き上げによる市たばこ税の増などにより、市税全体では前年度と比較して増額となりました。今後も自主財源の確保に向けて、さらなる取納対策とともに、中長期的な視点に立った取り組みに期待します。

国庫支出金については、国の経済対策による大型補正予算などにより増額となっておりますが、国庫支出金は本市の施策を進めていく上で貴重な財源となっております。今後も国の動向に注視し、積極的に活用することを望みます。

次に、歳出では、総務費の防災費各事業において、防災対策本部及び自主防災組織などの強化、充実を図ったことは、災害に強いまちづくりに寄与するものと考えます。

民生費では、こども医療費の通院分について、中学生まで拡充したことは、子育てをする保護者の負担を軽減するものであり、子育てしやすいまちづくりの推進に向けた取り組みであると評価します。

土木費では、南桜井駅周辺



## 議員提出議案

### 市立小・中学校の 普通教室にエアコンの 設置を求める決議

近年、地球温暖化の影響な

どにより、夏季において異常に気温の高い日が増えていることや施設の老朽化が進む厳しい環境の中で、春日部市の将来を担う児童生徒が日々勉学に励んでいるところであり、より良い学校教育環境の整備として、普通教室へのエアコンの設置や施設の老朽化対策などが求められています。

このような中、執行部では、「学校教育環境の整備については、児童生徒の安心安全の確保のため、耐震補強工事を最優先に進め、小・中学校の普通教室へのエアコン設置については、学校施設の老朽化対策と併せて施設の長寿命化計画の中で検討していく」とし、耐震補強工事を推進しています。また、暑さ対策として、全教室への扇風機の設置、耐震補強工事に併せた屋上や外壁の遮熱塗料による塗装、ミストシャワーの設置や熱中症予防の観点からの児童生徒への生活指導などを実施して

整備の完成、供用開始や藤塚米島線の開通など、合併以降積極的に進めてきた整備が確実に実現されたことは、産業の振興や地域の活性化、魅力あるまちづくりにつながるものと期待しています。

教育費では、小中学校の校舎、体育館の耐震補強事業や小中学校の体育館トイレ改修事業など、児童生徒の安心・安全の確保、快適な教育環境の整備に向けた取り組みが積極的に図られています。

さらに、公共用地及び施設取得または施設整備基金については、平成25年度の決算後の残高が約39億円となり、このことは今後想定される本庁舎移転建て替えを初めとする大規模事業や老朽化した公共施設への対応などに向けて山積する課題を見据えたものとして、適切な措置であると考えています。

以上のとおり、歳出については、市民生活に真に必要な事業を優先した効率的な予算執行がされたものと受けとめています。

今後、限られた財源を有効かつ効率的に活用し、より一層の市民サービスに努めるよう要望し、賛成します。

きました。このことに對し、一定の評価と理解をしてきたところです。

しかしながら、耐震補強工事の完了の見通しがついた現状においては、近年の夏季の気温が異常な高温となる気象状況を鑑みた場合、児童生徒の健康維持、保護者の不安解消のためにも、長寿命化計画による施設の老朽化対策に先駆けて、普通教室へのエアコンの設置を決断すべきと考えます。また、設置に当たっては、市の財政負担の抑制や民間活力の導入・活用なども踏まえ、全小・中学校に同時設置が可能で、かつ、本市にとつて最も有効な手法について、早急に調査研究を進めるなど、具体的な検討に着手する必要がありますと考えています。

よつて、執行部においては、市立小・中学校の普通教室へのエアコンの設置に関し、早期に有効な導入手法の検討を実施するとともに、必要な財政措置を講じ、できるだけ速やかな実現を図るよう強く求めます。

以上、決議する。

平成26年9月19日

春日部市議会  
【全員一致で原案可決】

## 第4回(7月)臨時会 審議結果

平成26年第4回(7月)臨時会が7月30日(水)に開会されました。

### 市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ( )は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	新 風 会	公 明 党	日 本 共 産 党	社 会 民 主 党	民 主 党	無 所 属
議案第55号	(仮称)市立第1・第2統合保育所建築工事請負契約の締結について(厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	区画街路1号線道路改良(H26-1)工事請負契約の締結について(建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

## 9月定例会 審議結果

### 市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ( )は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	新 風 会	公 明 党	日 本 共 産 党	社 会 民 主 党	民 主 党	無 所 属
議案第57号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定(厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第58号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定(厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第59号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定(厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議 案 名 ( ) は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	新 風 会	公 明 党	日 本 共 産 党	社 会 民 主 党	民 主 党	無 所 属
議案第 60 号	農業委員会の選任による委員の議会推薦委員に関する定数条例の制定 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 61 号	中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 (総務・厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 62 号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 63 号	保育の実施に関する条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 64 号	放課後児童クラブ条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 65 号	重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 66 号	市営住宅条例の一部改正 (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 67 号	市道6-447号橋下部工事請負契約の締結 (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 68 号	財産の取得(春日部消防署浜川戸分署災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅰ型) (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 69 号	財産の取得(春日部消防署備後分署災害対応特殊救急自動車及び高度救命処置用資機材) (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 70 号	平成25年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分 (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 71 号	平成25年度水道事業会計資本剰余金の処分 (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 72 号	平成25年度一般会計決算認定 (各委員会)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 73 号	平成25年度国民健康保険特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 74 号	平成25年度後期高齢者医療特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 75 号	平成25年度介護保険特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 76 号	平成25年度土地取得特別会計決算認定 (総 務)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
議案第 77 号	平成25年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計決算認定 (建 設)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
議案第 78 号	平成25年度市立看護専門学校特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
議案第 79 号	平成25年度水道事業会計決算認定 (建 設)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 80 号	平成25年度病院事業会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
議案第 81 号	平成25年度下水道事業会計決算認定 (建 設)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 82 号	平成26年度一般会計補正予算(第4号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 83 号	平成26年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 84 号	平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 85 号	平成26年度介護保険特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 86 号	平成26年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号) (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 87 号	平成26年度市立看護専門学校特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 88 号	平成26年度病院事業会計補正予算(第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対 - :退席)

議第 10 号議案	「危険ドラッグ(脱法ハーブ)」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 11 号議案	奨学金制度の充実を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 12 号議案	公立高校の授業料無償化制度の復活に関する意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	×	×
議第 13 号議案	公立小・中学校の35人以下学級の早期拡大を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	○	×
議第 14 号議案	米価の安定対策を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	○	×	○	○	×	×
議第 15 号議案	農業の「規制改革」に反対する意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	×	×
議第 16 号議案	エネルギー基本計画の見直しを求める意見書 (付託省略)	否 決	×	× <sup>5</sup> <sub>-1</sub>	×	○	○	×	×
議第 17 号議案	市立小・中学校の普通教室にエアコンの設置を求める決議 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

# 一般質問

## 市民の声を市政に

議長は職責上（議事整理権）、監査委員は申し合わせにより、一般質問を行っていません。

（文責は、各質問者）

### 一般質問に30人が登壇

#### 都市計画道路と 広域道路構想について



山崎 進  
議員

現在、大場大枝線の工事が行われています。この事業は、昭和39年に都市計画決定がされ、計画から47年後に工事が着工されましたが、市内には、50年たっても依然として未着手となっている路線もあります。

そこで、長期未着手となっている都市計画道路は適正に見直し、平成11年都市計画マスタープラン、平成13年春日部市総合振興計画で構想道路として位置付けられた重要な広域幹線道路である春日部駅東口不動院野線や春日部駅西口大沼線の延伸は、必要性や整備効果を見極めて早急に整備する必要があります。思います。が、市の考えを伺います。

#### ○都市整備部長

長期にわたり未整備となっている都市計画道路は、社会情勢の変化に伴い、まちづくりの方向性も大きく変化している状況で、上位計画との整

合性や代替路線の可能性などを検証し、適正な見直しが必要と考えています。

また、広域幹線道路については、適正な見直しを行い、将来における環境の変化を鑑み、必要性の高い道路について整備を推進していきます。

#### ○市長

都市計画道路や広域幹線道路は、市の発展や魅力あるまちづくりに大変重要であり、必要性や整備効果を検証し、選択と集中による整備を推進していきます。

#### このほか

#### ○教育について

#### 市役所内での 赤旗の販売活動 問題について



井上 英治  
議員

日本共産党の機関紙である赤旗の販売や勧誘をするために執務室内に入ること、市職員が公権力を行使するということの意味や市民の重要な情報がある点からも問題があります。

また、市議会議員の立場では、職務上の地位や人間関係

の優位性を理由に圧力をかける、いわゆるパワーハラスメントに当たるのではないかと考えます。

多くの自治体でも問題となっている執務室内での赤旗の販売活動については、市民から誤解や疑惑を持たれない労働環境を作って対処してもらいたいと思いますが、市の考えを伺います。

#### ○総務部長

市役所内の物品の販売等については、春日部市庁舎管理規則に基づき、申請と許可が必要です。

平成26年度において、新聞購読に類するものの申請は、3件ありますが、いずれも庁舎内の秩序の維持等に支障がないものと判断し、許可をしています。

また、庁舎内における物品の販売や勧誘等については、庁舎内の秩序の維持の観点から、春日部市庁舎管理規則に基づき許可条件として、執務室内への立入禁止などを明記しているため、執務室内での販売や勧誘等については認められません。

#### このほか

○土地開発公社の用地活用は不十分ではないか



### 避難所の運営について 事前の地域協議の場を



今尾 安徳  
議員

現在策定中の避難所運営マニュアルについて、災害時の避難所の運営は、市の職員ももちろん関わるわけですが、基本的には地域の実情をよく理解している地域の皆さんや避難して来られた方々が主体的に運営されるマニュアル作りが進められています。

そこで、避難所運営について、災害が発生した時は大変な混乱が予想されます。この混乱を最小限に抑えるために、事前に地域団体や、地区の代表者などと話し合いを進めておくべきと思いますが、市としての考えをお示しく下さい。

#### ○市長公室長

地域防災計画の改訂や避難所運営マニュアルの作成に当たり、国、県、自主防災組織等の代表者のご意見を伺うだけでなく、市民の皆さんのご意見を反映するためにパブリックコメントを実施してきました。また、本年9月には、



自主防災組織リーダー養成講座の様子

県との共催により自主防災組織リーダー養成講座を開催し、100人の参加があったところです。その中で、避難所の運営について、体験・研修をしていただきました。

#### このほか

障がい者も利用しやすい春日部駅西口駅前タクシー乗り場に改善を

○公的機関に手話通訳者の配置と、聴覚障がい者への支援強化を

### サッカーによる(芝生化)スポーツ推進について



中川 朗  
議員

今後のスポーツ推進を担う子どもたちのためにも良好な環境で、サッカーをはじめとするスポーツに親しむことができる芝生の屋外体育施設の整備が必要であると考えます。

そこで、グラウンドの芝生化や夜間照明施設整備などの事業に対して助成し、身近なスポーツ施設の整備促進を目的としているスポーツ振興くじ助成金を活用する場合の課題と市の考えを伺います。

また、ヨーロッパの有名なプロサッカークラブによる常設のサッカースクールが日本で開校しており、幼少期からトップレベルの経験ができるような環境を提供することも必要との考えから海外プロクラブチームによる常設のサッカースクールを本市に誘致することを提案します。

#### ○社会教育部長

スポーツ振興くじ助成金を活用する場合、敷地が原則市

の所有地でなければならぬことや事業実施年度の当初予算の段階で特定財源として見込むことが難しいなどの課題があります。

芝生の屋外体育施設をはじめ、体育施設の整備については、市の公共施設全体の方向性を踏まえ、中長期的な課題として検討すべきものと考えています。

#### このほか

○武里団地のリニューアルについて

○公共施設等総合管理計画について

○自転車の安全利用について

### こころのサポート推進事業について



鈴木 一利  
議員

子どもたちを取り巻く社会環境が急激に変化する中、不登校で30日以上学校を休んだ児童生徒が全国で6年ぶりに増加しました。本市も同様であり、この現状を解決するには、問題の未然防止や早期発見・早期解決のために行っている「こころのサポート推進

事業」が重要であると考えますが、その効果を伺います。

また、構成員であるスクールソーシャルワーカーの果たす役割と配置したことでの効果を伺うとともに、増員を要望します。

#### ○学務指導担当部長

こころのサポート推進事業は、配慮が必要な児童生徒への直接支援、担任や保護者への助言など学校内外から支援を行います。学校は専門的な立場からの助言により、自信と安心感をもって問題に取り組めるなどの効果がありました。

スクールソーシャルワーカーは、問題を抱える児童生徒などに支援を行う専門家で、保護者への助言や児童生徒と一緒に基本的な生活習慣などのルール作りを行います。

学校と連携して必要な支援の方策を立てるなど、支援体制作りの充実が図られ、学校と保護者の信頼回復や児童生徒の環境が大きく改善されるなどの効果がありました。

#### このほか

○消防団の処遇改善について

○ペアレントメンター相談事業について

## 消防団のさらなる強化について



金子 進 議員

消防団員の皆さんは、住民の生命・身体・財産を災害から守るという強い使命感のもと、日夜、献身的に任務の遂行に当たっており、住民にとって必要不可欠な消防防災組織です。しかし、消防団を取り巻く環境は、災害の複雑多様化や少子高齢化による若年層の減少、就業構造の変化、地域社会への連携意識の希薄化など、社会環境の変化から消防団員数の減少が続いています。そこで、①本市の消防団員数の推移②消防団員の年齢構成と職業別構成③消防団の活動内容④消防団協力事業所表示制度について伺います。

①平成24年は205人、平成25年が208人、平成26年が205人となっています。②本年4月1日現在、20歳以上40歳未満の方が61人で全体の30パーセント、40歳以上60歳未満の方が129人で約63パーセント、60歳以上の方が15人で約7パーセントとなっています。構成としては、サラリーマンが104人で約51パーセント、自営業が46人で約22パーセント、農業や家事手伝いが39人で19パーセント、アルバイト等が16人で約8パーセントとなっています。③現場での消火、救出、避難誘導や情報収集を行うことです。④消防団活動に支援をいただける事業所に、消防団協力事業所表示証を交付する制度です。



会田 幸一 議員

## 学校教育環境の改善について

このほか、農地プランについて  
本市では、児童生徒・避難場所としての安心安全を図るため、小中学校の校舎・体育館の耐震補強事業を最優先で進めてきました。平成27年度完了の目途が立ってきました。そこで、次の課題について伺います。①課題解決策②整備のための財源③普通教室へのエアコン導入についての教育委員会の見解④財源確保としての民間活力導入の検討について⑤エアコン導入を含めた教育環境の整備について、市長の考えを伺います。

○学校教育部長  
①施設の長寿命化計画を策定し効果的な施設の整備、維持管理を行うとともに、財政負担の抑制を図り持続可能な計画とすることが重要と考えます。②改修に当たっては、国の交付金などを有効に活用していきます。また、教育債などの起債が充てられるものもあるため、国・県と調整を図りながら、有利な財源が確保できるよう検討していきます。③総合的に判断し、今年度、導入方法や方式、予算的な検討も含め詳細な調査研究に着手していきます。④導入方法の選択肢の一つとしてPFIなど民間活力の導入も検討していきます。



松本 浩一 議員

## 一刻も早く春日部駅に東西自由通路を

線路によって東西が分断されている春日部駅周辺の不便な状態を解消するため「春日部駅付近連続立体交差事業」が進められています。9年前に、国の「着工準備採択」がされました。現在、都市計画決定に向けての準備が進められています。しかし、都市計画決定は、いつになるか分からず、工事期間も一般的に10年間と言われ、完成までには早くても20年以上かかると思われます。総事業費は約550億円と多額で、事業者が10パーセント、残りを国が55パーセント、県と市が45パーセントとなっていますが、県と市の負担割合は未定です。春日部駅周辺整備のための「中心市街地まちづくり計画」と合わせると莫大な費用です。市民は、早く東口と西口が自由に通行できるようにしてほしいと願っています。いつ



内谷陸橋から見た春日部駅周辺



### 新市立病院の 患者サービスについて



古沢 耕作  
議員

来年度中の完成を目指して建設中の新しい市立病院に関しては、市民の皆さまの関心も非常に高いところですが、施設の整備だけにとどまらず、利用者の立場に立った「患者サービスの充実」に力を入れて欲しいとも考えています。

私自身、「けいれん性発声障害」という少し珍しい声の病気を患っていますが、始めは、どの診療科で診察を受けていいかも分からず、戸惑った経験をしています。

新病院では、「予診室」や「総合診療科」を新設して、初診患者の対応に当たると聞いていますが、その点も含め患者サービスの充実に関する考え方について伺います。

#### ○病院事務部長

新病院で設置を予定している総合診療科の運用は、紹介状を持たない患者さんの初診外来として運用し、主に総合診療科看護師が詳細な問診を

行う場として予診室を活用していく予定です。

総合診療科の役割については、どここの診療科にかかつてよいか分からない患者さんの初期診療を行い、的確に治療を進めていく診療科に引き継いで行く役割を担うものです。人員体制については、適切な初期対応を行える総合専門医を中心に体制を整備していきます。

このほか  
○市内スポーツ施設の充実について  
○自然エネルギーの推進について



新市立病院における総合相談センター（イメージ）

### 春日部市立病院の 今後の方向性について



小久保博史  
議員

新市立病院投資を好機として捉え、今ある看護専門学校をさらなる発展・進化の方向性を将来構造の政策課題として期待する方々が多方面にいることを知ってもらいたいとの思いから、その理由と必要性について以下述べます。

今後も継続して進行し続ける高齢化と少子化を背景とした新たな地域福祉社会の到来は論を待つことなく、医療や福祉、教育などをトータルで対応せざるを得ない行政責務が求められることとなります。

このたびの新市立病院建設を好機と捉え、現有の看護専門学校をさらなる発展進化の方向性を将来構造の一施策として、（仮称）総合医療福祉大学、もしくは専門学校として充実・発展させる計画を政策課題とし、単に市の施策として計画するだけでなく、国・県の指導の下、近隣自治体の参加や地域住民の支持・

支援はもとより、産学官の支援も視野に置いた広域行政圏の設置を視野にした施策を前提に市として考えてみることはできないものか伺います。

#### ○市長

これからの看護師は高齢化が進む社会において、在宅医療や訪問看護の分野で医師と患者、さらには家族や介護者をつなぐキーパーソンとしての役割が大きいが増えてきています。今後も、さまざまなニーズに柔軟に対応できる人材を育成するため、さらなる指導、教育内容の充実を図っていきます。

### 春バスの充実と デマンドタクシーの導入を



大野とし子  
議員

平成28年度に向けた春バスの第3次運行計画の検討が始まりました。

市の行ったアンケートによると「公共交通の利用しづらい地域を減らすための運行を」という要望が強く、春バスへの不満は「運行する時間帯、便数」という声が多数あ

りました。また「買い物に行っても丁度よく帰れるバスがない」、「午前中に買い物や病院に行きたい」という市民や高齢者の皆さまからの声があります。

春バスの利便性向上のためには、増車、増便をして、住民の望む運行ルートにするこ

とが重要と考えます。また、春バスが通ったとしても面的に広い地域では、バス停が遠く利用できない方もいるので、細やかに対応できるデマンド（乗り合い）タクシーの導入を提案します。

春バスの増車、増便、デマンドタクシー導入について、市の考えを伺います。

#### ○都市整備部長

住民の意向や人口密度など地域全体を分析し、第3次運行計画では、最も効率的で効果的な交通手段の提供を検討しています。鉄道や民間路線バスが充実している本市ではそれらとの連携により交通ネットワークの形成を図り、適切な手法による運行をしていきたいと考えています。

#### このほか

○下柳地域の冠水対策を  
○県営西金野井団地付近、市道9-3234号線の改善を

内容まちづくり計画について



岩谷 一弘 議員

長期未着手となっていた内谷地区の土地区画整理事業の進展に向け完成した新たな地区計画について、内容、住民意見の反映、公共下水道整備等について質問します。

○都市整備部長

地区計画の内容について、西部第二内谷地区土地区画整理事業区域を南北に分け、内谷南地区の地区計画では区画道路市道5-274号線と公園1カ所の位置を定め、内谷北地区の地区計画では建築物に関する事項を定めました。

また、まちづくり計画策定に当たり、内谷地区まちづくり検討会や住民説明会等を開催し、地区内の道路整備、公園整備、商業・住居・沿道のゾーン分け、公共下水道整備等のご意見、提案をいただいたところです。

○建設部長

内谷地区の公共下水道整備について、平成27年度は南一

丁目、南二丁目の一部を含んだ面積10・9ヘクタールの整備を行い、平成28年度は南二丁目の残りの部分、面積8・2ヘクタールの整備を計画しています。

○市長

内谷地区の皆さまが、大変長い間、公共下水道の整備を待ち望んでおられたことは十分認識しています。財政状況を勘案しつつ、できるだけ早期に完成できるように積極的に取り組んでいきます。

このほか

○IT基幹系システムリリースについて



内谷陸橋から見た内谷地区

認知症患者の増加を食い止めるには



石川 友和 議員

厚生労働省では、認知症高齢者が平成37年に470万人に達すると見込んだ上で現在認知症の施策を推進しています。そこで、①本市における現在の認知症高齢者数及び認知症高齢者への対策について

②今後も増え続ける認知症高齢者に対してどのような予防対策・迷い人対策が重要であると考えているのか伺います。

○健康保険部長

①平成25年度における要介護認定者は7504人であり、そのうち認定症状を有する方は、2778人です。②65歳以上の市民を対象に介護予防普及啓発事業「そらまめ塾」を各地区公民館において開催し、簡単な計算や音読、手や指を使うことによる脳のトレーニングを実施しています。

○福祉部長

②予防対策としては、高齢者が社会参加できる仕組みなどを進めることにより、高齢

者の自主的な活躍を支援していきます。迷い人対策については、埼玉県徘徊高齢者等SOSネットワークの活用が有効な手段であると認識しています。今後も第5期高齢者保健福祉計画等に位置付けられている介護予防事業などを推進するとともに、第6期計画においても認知症高齢者への対策を図っていきたく考えています。

このほか

○市街地付近のムクドリに関して

○今後春日部市が発展するに

は

○市街地付近のムクドリに関して

○今後春日部市が発展するに

は

○市街地付近のムクドリに関して

○今後春日部市が発展するに

は

○市街地付近のムクドリに関して

○今後春日部市が発展するに

は

○市街地付近のムクドリに関して

○今後春日部市が発展するに

は

○市街地付近のムクドリに関して

○今後春日部市が発展するに

は

○市街地付近のムクドリに関して

○今後春日部市が発展するに

は

○市街地付近のムクドリに関して

○今後春日部市が発展するに

は

○市街地付近のムクドリに関して

○今後春日部市が発展するに

は

○市街地付近のムクドリに関して

○今後春日部市が発展するに

は

公共サービスへの民間活力の導入について



栄 寛美 議員

指定管理者制度は、多様化する住民ニーズに効果的・効率的に対応するため、また、住民サービスの向上や経費の節減等を図ることを目的に平成15年の地方自治法の改正により導入されました。民間活力の導入は市民ニーズに対応した質の高いサービスの提供

このほか

○魅力ある中心市街地の創出について

等が期待できるとともに、民間への市場開放にもつながるものと考えられます。

現在、本市でも民間活力の導入が進められています。導入している担当部署は現場の実態調査も含め管理指導を徹底するとともに、指定管理者制度の効果を検証するため第三者による評価検証を行い結果を公開するべきと考えますが、市の考えを伺います。

○総合政策部長

本市では、現在施設を所管する担当課により、経費・サービスの両面から評価検証作業を行っています。また、評価検証結果の公開は、利用者アンケートの結果を施設に揭示するなど積極的な情報公開に努めており、指定管理者制度の導入効果について適切な評価検証を行っているものと捉えています。しかし、他の自治体では、市民等の第三者による評価検証を行い、結果をホームページ等で公開している自治体もあるため、今後調査・研究を行い、よりよい評価方法を見いだしていきたいと考えています。

このほか

○魅力ある中心市街地の創出について

○魅力ある中心市街地の創出について

○魅力ある中心市街地の創出について

○魅力ある中心市街地の創出について

○魅力ある中心市街地の創出について

○魅力ある中心市街地の創出について

○魅力ある中心市街地の創出について

○魅力ある中心市街地の創出について

○魅力ある中心市街地の創出について

○魅力ある中心市街地の創出について

○魅力ある中心市街地の創出について

○魅力ある中心市街地の創出について

○魅力ある中心市街地の創出について

○魅力ある中心市街地の創出について

○魅力ある中心市街地の創出について

○魅力ある中心市街地の創出について

○魅力ある中心市街地の創出について

○魅力ある中心市街地の創出について

○魅力ある中心市街地の創出について

○魅力ある中心市街地の創出について

○魅力ある中心市街地の創出について

○魅力ある中心市街地の創出について



路面下空洞化調査について



栗原 信司  
議員

昨今の被災地を思うと、災害発生前の防災対策は必須です。今回提案するスケルカー

などの特殊車両はマイクロー波を利用することで、時速60キロメートルで走行しながら、路面下の隠れた空洞を発見することができるようになります。市が管理する道路の総延長は約1050キロメートルということから、渋滞を考慮しても2週間もあれば点検が可能と思われ、また、この車両は道路だけでなく橋床部の空洞も発見できるようで、特殊車両の導入に関して、市の見解を伺います。

○建設部長

昨年、舗装面下の空隙による穴あきなどで修繕した件数は11件ありました。

道路陥没が発生すると、通過車両や歩行者の事故につながりかねません。舗装面下の状況を発見する手段として、この路面探査車は地中レー

ダ技術を応用し、短時間で路面下の詳細なデータを取得できることから、調査に当たっては有効であると考えています。

路面下空洞化調査については、調査実績や費用対効果などを調査研究するとともに、近隣他市の採用状況などを注視していきます。

このほか

- うつ・自殺・認知症予防対策について
- 緊急通報システム事業の拡大について
- 生ごみ処理機の利用推進について

小中学生の夜9時以降のSNS・ネット禁止運動について



木村 圭一  
議員

文部科学省が全国学力テストとともに行った児童生徒アンケートでは、平日にスマートフォン等の利用時間が長い児童生徒ほど成績が低い傾向にあるとしています。また、アプリケーションの利用による新たな問題も発生しており、社会問題ともなっています。

中でも、スマートフォンの無料通話アプリによる「既読スルー」が社会問題となっており、リアルタイムにメッセージを返信しないと仲間外れにされたり、中学生では「いじめ」の原因にも成りかねない」と指摘されています。また、保護者からは「いつまでたつてもやめない。」との声も上がっています。そこで、児童生徒の夜9時以降のSNS・ネットの利用を禁止する運動を本市でも取り組んでみるのはいかがでしょうか。

○学務指導担当部長

夜9時以降のSNS・ネット禁止運動については、先上市町の取り組みの成果や課題について今後注視していきたいと考えています。

○社会教育部長

家庭、地域における夜9時以降のSNS・ネット禁止運動については、既に禁止運動を行っている先進市の成果や課題、県内の動向などについて学校と連携を図り注視していきたいと考えています。

このほか

- 病児保育の市の対応・体制
- 安心安全メール（不審者情報発信）
- 犬猫の飼い方

風水害における春日部市の本部体制について



鬼丸 裕史  
議員

災害は一瞬にして多くの生命や財産を奪い、元の生活に戻そうとしても、長い年月と多大な費用が掛かります。近年では本市でも台風やゲリラ豪雨に伴う風水害による道路冠水や住宅への浸水被害が報告されています。そこで、①

風水害に伴う災害対策本部の対応について②今年の台風11号での具体的な配備体制について③通常の大雨警報（浸水害）と大雨警報（土砂災害）の違いについて④市ホームページへの気象に関する情報の掲載について質問します。

○市長公室長

①風水害時の本部体制配備基準を明確化することにより、風水害に対する対応を行っています。②土砂災害警報発令と同時に職員参集メールが自動的に発信され、初動配備A班の職員が速やかに登庁し対応に当たりました。③大雨警報（浸水害）は1時間の雨量

等を基準とし、雨量が基準値以上に達すると予想される際に発表されます。大雨警報（土砂災害）は雨量そのものが基準ではなく、降った雨が土の中に染み込み、貯留される雨水の量が土壌雨量指数の基準値に達すると予想される際に発表されます。④1時間先までの降雨予測が可能な気象庁の高解像度降雨ナウキャストのホームページを誰でも容易に閲覧できるよう、ホームページ等で閲覧方法などをお知らせしていきます。

このほか

○特定外来生物について



防災対策一斉訓練の様子



## 介護予防、見守りの充実を



並木 敏恵  
議員

医療介護総合推進法が来年4月から実施されます。要介護状態にならず、元気で長生きできるよう、市の独自の裁量で行う介護予防・生活支援サービスを大いに充実する必要があるですが、どのような対応を考えていますか。

また、一人暮らしの高齢者が増加している中、市民の力も借りて地域で「見守る」体制が必要です。長寿日本一の長野県では、どこの自治体でも「保健推進員」といった方が50世帯に1人くらいの割合で配置され減塩食の講習会や健康体操など、地域ぐるみで保健活動に取り組んでいます。春日部でも市民参加で健康づくり、介護予防に取り組む体制を検討できないでしょうか。

○健康保険部長  
新しい総合事業では、サービス内容や利用料などを市の裁量で決めることになりました。要支援1、2の認定を受けて



介護予防普及啓発事業「そらまめ体操」

いる方の訪問介護、通所介護の移行に当たっては、これまで通り専門職によるサービスを受けられるものです。さらに、既存のサービスに加えて、NPO法人やボランティア、民間団体などの多様なサービスも含めて、現在審議中の「第6期介護保険事業計画」の中で検討していきます。

地域ぐるみの介護予防は、地域包括ケアシステム構築に向け、関係機関や関係団体と連携・調整を図っていきます。

このほか  
○せんげん台スーパーバリュ―横の踏切の拡幅を

## (仮)がん対策推進条例について



武 幹也  
議員

国民の死亡原因の長年トップに位置しているのががんです。全国では約88万人が罹患し、平成26年度には約36万7000人が亡くなると予測されており、春日部市立病院では、平成25年度の罹患者が、入院数で948人、外来で約1500人となっています。

がん対策基本法の第4条に、「国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し」とあります。本市の特性は、市立病院が地域がん診療連携拠点病院になっており、春日部市医師会の会長が副院長に着任されていることです。

このような特性を生かしたがん対策推進条例を総力戦の体制で整えるべきですが、市の考えを伺います。

○健康保険部長  
がん対策の推進には、正しい知識の普及・啓発とがんの早期発見、早期治療の予防対

策が重要です。医師会に設置されているがん対策委員会のご意見等を伺いながら積極的にかん予防対策を実施していきます。今後も市の役割であるがん検診の受診率向上を図り、引き続き医師会と連携し、がん予防対策を推進します。

○市長  
がん対策については、医師会のご協力をいただきながら、国や県との連携を図り、引き続き推進します。

このほか  
○さい帯血採取事業について  
○公共交通バスについて  
○農地バンク制度について

## 交通政策基本法の成立と地域公共交通について



蛭間 靖造  
議員

今年の11月27日に交通政策基本法が国会で成立し、基本理念等に「国民等の交通に対する基本的なニーズの充足」、「交通の機能の確保及び向上」などが盛り込まれました。これを受けて、本市でも交通政策をより充実したものにすることが求められます。そこ

で、以下の6項目について質問します。①公共交通の現状について、②交通政策基本法に規定された本市の責務について、③これまでの交通施策の評価について、④今後の交通施策の展開について、⑤今後の春バスの運行について、⑥交通施策の将来像について

○都市整備部長  
①路線バスでは、利用者の減少が著しい。②国との適切な役割分担を踏まえ、諸条件に応じて施策を策定し、実施する。③春バスは市内公共交通の一つとして認知され、利用されていると評価。④バス交通の利便性向上とバス網による公共交通ネットワークの形成、交通結末機能の強化による公共交通利用促進、情報提供や割引制度等による利用促進、バリアフリー化、春バス運行のガイドラインの検討。⑤公共交通ネットワークを補完するコミュニティ交通の整備案を検討予定。⑥コミュニティ交通は、必要最小限の範囲とし、民間公共交通との均衡や運営の健全性を考慮した利用者負担の設定で持続可能な運営を目指します。

このほか  
○空き家対策について

## 小中学校の長寿命化計画と幸松小学校の建て替えについて



卯月 武彦 議員

市内の小中学校の校舎は、来年度で耐震化が全て終わります。しかし、老朽化しているものが多く、雨漏りや、汚く、洋式便器の少ないトイレなど多くの問題があります。市では、長寿命化計画を策定するとしていますが、そのスケジュールについて伺います。

また、文部科学省が示している長寿命化は、単なる改修ではなく、現在求められる水準に機能の向上を行うこととし、躯体だけを残して全面改修する例を挙げています。こうした改修を考えているのでしょうか。なお、築46年が経過している幸松小学校は、建て替えるべきだと思いますが、市の考えを伺います。

### ○学校教育部長

平成26年度に、市が所有する施設全体の公共施設白書の策定に着手し、公共施設の現状を明らかにした上で、公共施設マネジメント計画など市

全体の方向性や方針が策定されます。この計画に基づき、学校施設の個別の長寿命化計画を適正な時期に策定する予定です。

柱とはりの躯体だけを残した全面改修は、長寿命化改良事業と言われるもので、建物の耐力度が基準を下回った場合の選択肢の一つです。幸松小学校については、耐震補強工事が終わり、構造上の安全性が確保されていますので、現時点での改築は考えていません。

このほか

### ○公契約条例の制定を

## 中心市街地の活性化について



一 佐藤 議員

春日部市総合振興計画後期基本計画の中で「魅力ある中心市街地の創出」がうたわれており、連続立体交差事業の推進及び連続立体交差事業と一体となったまちづくりの推進を掲げています。そこで、中心市街地の近年の土地利用や経済活動の動向をどのよう

に認識し、中心市街地まちづくり計画の中で取り組んでいるのか伺います。また、県内にぎわいの維持や創出に関する先進的な事例と土地利用の施策は具体的にどのような考えられるのか伺います。

### ○鉄道高架担当部長

中心市街地では、共同住宅が増加しており、統計書からは、商業によるにぎわいや活力が減少傾向にあるものと認識しています。なお、連続立体交差事業の進捗状況や周辺の整備状況、財政状況等を総合的に勘案し、必要な事業を進めていきます。

### ○都市整備部長

宮原駅東口地区で地区計画を活用した例があります。中心市街地には、地区計画制度の活用が効果的です。都市的な魅力を持つ建物の誘導や歴史的な資源を活用した店舗を促す等の魅力を高めることが効果的ですが、一定の規制をするものになりますので地域住民と連携を図りながら検討していきたいと考えています。

このほか

○高次脳機能障害対策及び支援について

○生産緑地の有効利用について

## 自動販売機を活用した防犯対策について



好 章 矢島 議員

近年、全国的に不審者による学校への侵入事件や登下校時の声かけや連れ去り等、子どもが被害者となる事件・事故が凶悪化・多発化し、安全・安心が脅かされている実態となっています。このことから、特に、児童・生徒の登下校時における安全確保の充実は、本市においても重要な課題であると考えます。埼玉県警察本部の資料によると、「子どもに対する声かけ事案」発生認知件数は、平成25年の一年間では県内で9番目に多い実態となっています。

小中学校の敷地内や、その付近、および通学路への自動販売機を活用した防犯カメラの設置について、市の考えを伺います。

### ○学校教育部長

本市では、全ての小中学校の正門などに防犯カメラを設置し、防犯対策を行っています。

自動販売機を活用した防犯カメラの設置について、学校付近や通学路に設置するためには、自動販売機の設置場所の確保や、他市の取り組みでも課題となっている採算性の課題があることから現時点では困難であると考えています。

しかし、児童生徒を犯罪から守ることは重要であると認識しており、今後通学路の安心安全を図る方策を調査研究していきます。

このほか

○社会福祉法人制度について  
○民生委員・児童委員協力員制度の導入について



市が設置した防犯カメラ



## 市立病院における 救急対応について



海老原光男  
議員

救急車の搬送先が決まらず長時間現場に滞在せざるを得ない状況が課題となっており、救急搬送の全てを市立病院で担うことは難しいと考えますが、救急医療は市の政策医療であり、市立病院には多額の税金が投入されていることから、市のために果たすべき役割は大変重要であると考えます。

そして、8月31日には、新市立病院の起工式も行われ市民の皆さまから、より一層期待されるところであります。救急医療について、現在の市立病院の救急受け入れ体制や救急車の受け入れ状況を伺います。

### ○病院事業管理者

市立病院の救急受け入れ体制について、診療時間内は、手術中等で対応ができない場合を除き、原則全て受け入れることとしています。診療時間外は、当直医師や臨床研修医のほか、看護師、放射線技

師、検査技師、薬剤師で対応していますが、医師が専門外であるなどの理由でお断りせざるを得ない場合があります。救急車の受け入れ状況について、今年度は7月までの要請件数1533件に対し、受け入れ件数は925件、受け入れ率60・3パーセントであり、徐々にではありますが受け入れ件数、受け入れ率とも上がってきている状況です。

このほか  
○市内公共建築物におけるアスベスト対策の進捗について  
○市内の民俗芸能の継承について



現在の市立病院

## 住宅リフォーム 助成制度の 早期実現を



坂巻 勝則  
議員

住宅リフォーム助成制度は、平成23年12月議会において創設を求める請願が議会で採択されたにも関わらず、いまだ実現されていません。

この制度は、リフォーム工事費の5パーセントから20パーセントを、限度額5万円から20万円で助成するものです。

住宅リフォーム助成制度は、少ない予算で大きな経済効果を生み出すことが期待され、多くの自治体で実施されています。工事を地元の中小業者に発注するよう工夫し、助成を市内だけで使える商品券で給付をすれば、リフォームする市民だけでなく業者や商店街にとってもメリットがあり、経済波及効果も大きく、市内産業の振興にもなる制度です。加須市では、2012年に922万円の予算で、243件、2億7905万円の工事が行われました。実に30倍の経済効果です。

埼玉県では現在、63市町村中38もの自治体でこの助成制度を実施しています。

多くの市民が望んでおり、請願も採択されている住宅リフォーム助成制度を早期に実施すべきではないでしょうか。

### ○市長

市民が安心して暮らせる住宅環境を確保していくことは、重要な施策と考えています。国では、人口減少、少子高齢化を捉えた住宅施策の検討が進められており、今後も国の動向を注視していきます。

### このほか

○一ノ割駅の橋上化を

## 学校教育について



小島 文男  
議員

庄和地区の宝珠花小学校、富多小学校、江戸川中学校は、児童生徒が100人を切っています。この減少する学校環境の中で、果たして子どもたちが充実した勉強をして社会に飛び出せるのか。小中一貫教育という形で子どもたちが幸せに勉強のできる環境と教

育を考えるべきと思いますが、市の考えを伺います。

また、全国学力テストは公表して、子どもたちや学校が切磋琢磨して伸びていくのが望ましいと考えます。全国学力テストの結果を踏まえて、教育委員会が主体となって学力向上に向けて努力している自治体もあります。子どもの学力向上について、市長、教育長の見解を伺います。

### ○学校教育部長

宝珠花小学校、富多小学校を統合し、江戸川中学校敷地内で特色ある小中一貫校を目指すという地元の意向を踏まえた、小中一貫校の実施を目指していきたいと考えます。

### ○教育長

「春日部メソッド」を徹底し、物事を深く考え、的確に表現する、総合的で実践的な子の育成に努めていきます。

### ○市長

学校と地域と家庭がしっかりと連携を図っていただくことに加え、市も教育委員会と連携を大いに図りながら、しっかりと支援してまいります。

### このほか

○大落古利根川再整備計画について

○生涯学習について



**農業経営の現状と  
今後について**



齋藤 義則 議員

わが国の食を支える農業が危機にひんしています。農地面積は減少、一方で遊休農地は増加しています。また、農業従事者は高齢化しています。

この現状を打破するためには、まず優良農地の確保と有効利用が必要と考えます。そこで、本市の農業基盤整備事業について、また増加している遊休農地の対策や農業従事者の高齢化対策の取り組みについて伺います。

**○環境経済部長**

本市では農業基盤の整備となる土地改良事業として、農道整備事業、用排水路整備事業、農業用施設適正化事業があり、農道や用排水路の整備を進めています。遊休農地の対策や、農業従事者の高齢化対策の取り組みとして、農地集積対策事業では、まず、人農地プランを作成し、農地の集積化を図ります。また、人材をあっせん紹介する農業へ

ルパー制度も実施しています。さらに、今年度から開始された多面的機能支払交付金や、農地中間管理事業などを積極的に活用することで、農業経営の効率化が進むと考えており、法人化を目指す方に対しては、研修の情報提供などの支援も行っています。

今後、農業を取り巻く状況を注視しつつ、関係機関と連携し、農業活性化に向けた有効な事業を展開していきます。

**このほか**

○元気な高齢者のために  
○農村部、河川敷等への不法投棄の現状と対策

**音楽都市・春日部へ  
魅力あるまちづくりについて**



水沼日出夫 議員

春日部に芽生えている音楽都市のブランドイメージを皆で育てていくプロセスが、絆を生み、住み続けたいと思いを醸成するはずと考えます。

そこで、市内の音楽団体が上っている輝かしい功績などに対し、市としてどのようにたたえ、市民に情報発信して

きたのかを伺います。また、わが街にも来ている本格的な人口減少・少子高齢化の波に歯止めをかけ、日本一幸せに暮らせる街を目指すのであれば、音楽都市のブランドイメージの確立と、シビックプライドの醸成は必須であり、もつとも有効な手立てと思えてなりません。市の見解を伺います。

**○総合政策部長**

市内では、すばらしい功績のある音楽団体が複数存在しています。そうした方々を、まちの情報誌「kasuka plus」で紹介し、多くの方へ魅力を発信しました。また、市内外の施設や、各種マスメディアなどにも積極的に情報発信をしてきました。

本市のシティセールスの目的は、市への愛着や誇りを育てることであり、音楽文化は、有効な地域資源です。今後も、さまざまな音楽イベントをより一層充実させ、効果的な情報発信を行い、本市のブランド化を図っていきます。

**このほか**

○地場商店街活性化に臨む市民活動について  
○八木崎土地区画整理事業にかかわる新たな計画について

**下柳地区の  
大型ショッピングモール  
周辺の道路について**



吉田 剛 議員

平成25年3月、春日部下柳地区に大型ショッピングモールが新規オープンしました。

春日部の市街地から大型ショッピングモールへ行く道のりとして、新しくできた藤塚米島線を利用し、4号バイパス手前の埼玉葛城農道を利用する方法があります。

この埼玉葛城農道ですが、大型ショッピングモールへ向かう途中に、見通しの悪いS字カーブやガードレールの破損、路面の舗装状況について劣化しているように見受けられる箇所があります。

そこで、この埼玉葛城農道について、管理主体、現状認識及び安全対策等について伺います。

**○建設部長**

埼玉葛城農道は、埼玉県が整備を行ったものですが、道路の維持管理については関係市町が行うことをあらかじめ定めていたため、関係市町に

移管され現在に至っています。近年は、埼玉県東部地域を南北に結ぶ利便性の高い道路のため、大型車の交通量増加や、大型商業施設の開業による周辺道路も含めた交通量の増加を認識しています。

現在、埼玉県が事業主体となり、埼玉葛城農道の保全対策計画を作成しており、計画が出来上がるまでは、これまでも同様に舗装破損箇所の修繕などを行っています。

**このほか**

○にぎわいの創出について  
○春日部駅の東西通行について



埼玉葛城農道のS字カーブ

**子育て支援対策  
予防接種及び健康診断  
メール配信について**



荒木 洋美 議員

近年の予防接種法の改正により、法に基づいて実施される予防接種が増加し、対象年齢や接種間隔も変更され、そのため保護者による予防接種のスケジュール管理が非常に複雑化しています。お子さんの体調により、一度接種できないと次回の予定を組むのは大変です。

そこで、保護者が携帯電話やパソコンで、子どものニックネームや生年月日、予防接種状況を入力することでBCG・ヒブなどの定期接種や、水ぼうそう・B型肝炎などの任意の予防接種のスケジュールが、オーダーメイドで作成されるモバイルサイトがあります。ぜひ本市においても導入すべきと考えますが、いかがでしょうか。

○健康保険部長  
近年、予防接種法の改正が頻繁に行われ、種類や方法も複雑化しています。こうした

状況に対応するため、広報かすかべ、市公式ホームページ、健康カレンダーへの掲載、個別通知など、さまざまな方法で情報提供に努めています。

メール配信等については、予防接種や検診の受け忘れを防ぐなど、一定の効果があると考えますが、提案いただいた方法を含め、個人情報のお取り扱いの確保や、子育て情報提供の一元化の方法等を十分に精査した上で、今後の方向性を見極めたいと考えています。

- このほか
- 防災・減災対策について
- 安心・安全なまちづくり

**傍聴して一言**

一問一答方式もだいたい定着し、論点が分かりやすくなつたが、質問者、答弁者に希望するのは、メモを見ずに質問・答弁をしてください。

男性・70歳

エアコン設置の見通しが出てきて本当にうれしく思いました。ぜひ早急に実現できるように、よろしく願います。

女性・66歳

※割愛させていただいた部分もあります。

**閉会中の委員会活動**

▽議会運営委員会

- 7月25日  
平成26年第4回（7月）臨時会の運営について
- 8月20日  
平成26年9月定例会の運営について

▽議会改革検討特別委員会

- 7月10日  
政務活動費の額について
- 政務活動費の公表方法等について
- 議員研修会の開催について

7月30日

- 政務活動費の額について
- 本特別委員会の今後の新たな検討課題等について

8月20日

- 議案質疑と一般質問のあり方（代表質問制度等）について
- 携帯電話等の本会議場内への持ち込みについて

▽中間報告書（案）について

▽広報広聴委員会

- 7月30日  
議会報告会の開催について
- 政務活動費の公表方法について

- 9月25日  
視察結果報告書について

- 議会報告会の開催について
- 議会だより第37号の発行について
- 政務活動費の公表について

10月6日

- 議会報告会の開催について
- 議会だより第37号の発行について

▽図書室運営委員会

10月6日

- 図書購入について

**総務大臣  
感謝状の贈呈**

平成26年10月17日に開催された「平成二十六年都道府県議会総務員及び市区町村議会議員総務大臣感謝状贈呈式」において、次の方が総務大臣から感謝状を贈呈されました。

【議員在職35年】

○小島 文 男

**次の定例会は**

**11月26日（水）**

**午前10時**

**開会予定です**

**政務活動費  
収支報告一覧の公開**

政務活動費は、地方議会議員の調査・研究・その他の活動に資するために交付されています。政務活動費の収支報告を一覧を、市議会ホームページで公開していますので、ご覧ください。

なお、政務活動費の収支報告一覧は、議会事務局のほか市役所本庁舎及び庄和総合支所の市政情報室で閲覧できますので、お問い合わせください。

広報広聴委員会

- |        |       |
|--------|-------|
| 委員長    | 荒木 洋美 |
| 副委員長   | 大野とし子 |
| 委員     | 石川 友和 |
| 委員     | 水沼日出夫 |
| 委員     | 斉藤 義則 |
| 委員     | 古沢 耕作 |
| 委員     | 矢島 章好 |
| 委員     | 蛭間 靖造 |
| オプザーバー |       |
| 議長     | 河井 美久 |
| 副議長    | 栄 寛美  |

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111（代表）

内線3116